

「Overseas Fieldwork in ベトナム 2025（科学技術振興機構[JST] NEXUS 若手人材育成コース募集分）」 募集要項

1. 趣 旨

九州大学教育学部のアジア圏を中心とする国際的研究と教育の実績を活用し、文化的多様性への感受性と歴史的社会的文脈の理解力を育み、アジア教育のエキスパート（教師、教育行政官、研究者）の養成が、本取組による人材養成像である。今回の募集は、日 ASEAN 科学技術・イノベーション協働連携事業 若手人材交流プログラム「国内外の高専と大学が協働する半導体人材の頭脳循環プログラム」(<https://www.jst.go.jp/pr/info/info1733/index.html>) に採択されたことにより、1年間事業（3月ベトナムからの学生受け入れと9月ベトナムへの渡航、2回のオンライン交流）に従事する学生を先行募集する。

2. 応募資格、募集人数

九州大学教育学部、人間環境学府教育システム専攻の正規課程の学生で、アジア教育に関心があるもの。科学技術振興機構(JST)の費用で渡航する 3名を先行募集する。（なお、学生が全額負担する通常の Overseas Fieldwork in ベトナム 2025 については、5月に別途募集を行う。）

3. 派遣先大学及び派遣先機関

【日本・福岡・宇部】九州大学、宇部工業高等専門学校、半導体工場（マイクロンメモリジャパン広島工場、株式会社ディスコ、アドテックプラズマテクノロジー）、北九州学術研究都市半導体微細加工研究開発支援施設（以上、予定）

【ベトナム・ハノイ】日越大学、商工短期大学、日本国際学校、国際協力機構（JICA）ベトナム事務所、国際交流基金ベトナム日本文化交流センター、SCUTI.JSC、東京メトロベトナム事務所、ハノイの半導体工場等（以上、予定）

4. 日 程

3月8日(土)から15日(土)

9月14日(月)から27日(土)からの2週のうち9泊10日程度(詳細はアポイントにより決定します)

また、2月と6月にオンライン交流（1日）が予定

この期間、全ての予定のうち本事業を最優先で取り組めることを申請の条件とします。

5. スケジュールと研修内容（以下は予定であり、アポイントの状況で変更があります。）

3/8(土) 福岡着

3/9(日) 福岡観光案内

3/10(月) 九州大学での英語のよる講演（日本の教育、文化心理学を予定）

3/11(火) 北九州での半導体施設見学

3/12(水) 宇部への移動日

3/13(木)から14日(金) 宇部高専、広島での半導体工場見学

3/15(土) 福岡空港へ送迎

9月予定（例）

1日目 移動 福岡→ハノイ（ハノイ泊）

2日目 国際機関訪問 国際交流基金ベトナム日本文化交流センター訪問（ハノイ泊）

3日目 国際機関訪問 国際協力機構（JICA）ベトナム訪問（ハノイ泊）

国際交流基金、国際協力機構（JICA）では日本から派遣されて現地勤務する方からキャリアに関する話をお聞きします。

4日目 商工短大訪問 学生交流（ハノイ泊）

5日目 日越大学訪問 学生交流（ハノイ泊）

6日目 半導体工場訪問（ハノイ泊）

7日目 現地日本企業訪問（ハノイ泊）

8日目 日本国際学校（JIS）での授業見学、生徒交流（ハノイ泊）

日本国際学校（JIS）は、現地に作られた日本式教育学校です。

同校にて、授業見学（ベトナム人教師と日本人教師とのチームティーチング）ほか、今回参加する学生には、学校内で日本語講義等の実習を実施していただきます。

9日目 日越大学訪問 講義の受講 移動 ハノイ→福岡（翌日早朝福岡着）

6. 参加費（自己負担内容）

交通費（航空券・バス代）・宿泊費（7日分）等は、科学技術振興機構の支援により九州大学の規定により支給（ただし、ホテル代は2、3泊延泊[1泊1人部屋70ドル、2人部屋40ドル[2024年実績]の予定であり、その部分の支払いは実費となる。また、食費小遣いも自己負担となる）。

その他、必要経費は自己負担。（例：海外旅行保険（※1）、パスポート取得料金（未取得の場合）、飲食費等。）

※1 海外旅行保険として、学研災付帯海外総合保険（付帯海学）に加入すること。派遣が決定した者は、九州大学生生活協同組合にて加入手続きを行うこと。

7. TA 給与の支給について

3月の九州大学、宇部高専での学生交流、9月のベトナム訪問、また、2回あるオンライン交流については、7日分のTA給与を支給する予定である。[時給1,153円で1日7時間7日分として、概算で5.6万円/年程度を2024年度2025年度の2年間支給予定]

なお、3月12日から14日の2泊の宇部への宿泊費は支給予定。

8. 奨学金について

九州大学基金海外留学渡航支援（6万円）の奨学金を選考の上支給の可能性あり。選考に当たっては、国際コースの学生を優先し、成績、及び、提出された志望理由書により判断する。

9. 申請の方法と期限

申請期間：12月18日(水)から12月25日(水)17時

提出書類：(1)参加申請書（海外渡航届は、渡航までに提出すること）

提出締切：12月25日（水）17時

提出先：人文社会科学系事務部学務課（教育学部担当）窓口

※申請する前に、申請の意向を指導教員（1,2年生は学年担任）に必ず伝えること。

10. 選考

書類選考の上、派遣候補者を決定する。なお、必要に応じて面接をする場合がある。なお、応募者が多数の場合は、パスポートを持っている学生（もし、持っていない場合は、可及的速やかに取得を約束できる者を優先する）、事前学習のすべてに参加可能な学生を優先する場合がある。選考は、「Overseas Fieldwork in ベトナム」担当教員にて行い、選考結果の発表は、1月8日(水)までに当該学生にメールで通知する。

11. 事前学習+事前課題

本プログラムに参加予定の学生は事前学習（前期の期間中、水曜5限[予定]、不定期開催）への参加を義務付ける。この事前学習に参加できない学生は、本プログラムには申請できない。事前学習については、交流事業についての自己紹介や大学紹介のスライド作成や、日本国際学校での授業案の作成や、日越大学に関する事前調査が含まれる。グループ作業（英語や日本語での複数スライド作成を含む）等時間外の作業も多いことを十分に留意して応募すること。事前学習の詳細については別途指示を与える。

12. その他、単位認定など

本研修は「Overseas Fieldwork I」として単位認定を行う。申請時1年生の学生も申請・参加可能である。申請時1年生が参加した場合も、2年次に「Overseas Fieldwork I」（2025年9月実施予定）として単位認定を行う。大学院生については、指導教員の許可を得て、「Overseas Fieldwork I」として単位認定を行うことも可能である。

本事業については、海外渡航経費やTA給与を支給するプログラムのため、本事業のスケジュールを最優先できる学生であることが申請の条件である。

13. 問い合わせ先

不明な点があれば、問い合わせください。

木村拓也 教授（教育学部 教育社会計画学講座 教育社会学研究室）

kimura.takuya.329@m.kyushu-u.ac.jp